３級の技能検定の受検資格付与に係る確認書

日付：令和○年○月○日

所属：　○○○○○○○○

実施責任者：　○○　△△

下記講習により、次の者が受検資格を付与できる者であるか否かを確認したことを証します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属** | **生年月日** |  **判定結果** ※1 |
|  |  |  | 可 ・ 否 |

※1　講習内容に示した科目の細目を受講した結果、安全に作業ができるか否かの観点から、判定者が総合的に判定。

記

（職種・作業名）

|  |  |
| --- | --- |
| 職種名 | 作業名 |
| 化学分析 | 化学分析 |

（講習担当者）※2

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 資格 |
|  |  |
|  |  |

※2　判定者と同一の者の場合、資格欄のみ省略可

（日時・場所）

|  |  |
| --- | --- |
| 日時 | 場所 |
| 令和　　年　　月　　日（　　）　　時～　　時 |  |
| 令和　　年　　月　　日（　　）　　時～　　時 |  |
| 令和　　年　　月　　日（　　）　　時～　　時 |  |
| 令和　　年　　月　　日（　　）　　時～　　時 |  |
| 令和　　年　　月　　日（　　）　　時～　　時 |  |
| 令和　　年　　月　　日（　　）　　時～　　時 |  |

裏面に続く

（講習内容）

当該職種（作業）において安全作業をする上で必要となる次項の科目の細目について、必要なレベル ※3 の最低６時間の講習を行う。

（細目及び確認項目）

「試験科目及びその範囲の細目」の安全衛生及び労働安全衛生法関係法令等

|  |  |
| --- | --- |
|  | **チェック欄** |
| 1 | 化学分析作業に伴う安全衛生に関し、次に掲げる事項について一般的な知識を有すること。 |  |
| (1) | 薬品、試料等の危険性又は有害性及びこれらの取扱い方法 |  |
| (2) | 装置、器具の危険性及びこれらの取扱い方法 |  |
| (3) | 廃棄物の危険性又は有害性及びこれらの処理の方法 |  |
| (4) | 安全装置、有害物抑制装置、保護具の性能及び取扱い方法 |  |
| (5) | 化学分析作業に関して発生するおそれのある疾病の原因及び予防 |  |
| (6) | 事故発生時における応急措置及び退避 |  |
| (7) | 作業開始時の点検、作業手順の確認 |  |
| (8) | 整理整頓及び清潔の保持 |  |
|  | (9) | その他当該業務に関する安全又は衛生のために必要な事項 |  |
| 2 | 労働安全衛生法関係法令（化学分析作業に関する部分に限る）について概略の知識を有すること。 |  |

※3　必要なレベル（「詳細な」「一般的な」「概略の」）の定義について

　　詳　細：確実に、かつ、深く知っていなければならない知識の程度

　　一般的：知っていないと作業に支障が生じる知識の程度

　　概　略：浅く広く常識として知っておかなければならない知識の程度

「試験科目及びその範囲の細目」の実技作業

|  |  |
| --- | --- |
|  | **チェック欄** |
| 1 | 次の試薬、標準溶液の調製 |  |
| (1) | 主要な無機試薬 |  |
| (2) | 主要な有機試薬 |  |
| (3) | 酸標準液 |  |
| (4) | 塩基標準液 |  |
| (5) | その他の標準液 |  |
| (6) | 容量分析用標準物質 |  |
| 2 | 次に掲げる定性分析ができること。 |  |
| (1) | 次の無機化合物に関する定性分析手法 |  |
| イ | 陽イオンの湿式定性分析 |  |
| ロ | 陰イオンの湿式定性分析 |  |
| ハ | 乾式予備試験 |  |
| ニ | ガスの定性分析 |  |
| (2) | 有機化合物中の次の元素の定性分析 |  |
| イ | 窒素 |  |
| ロ | ハロゲン |  |
| ハ | いおう |  |
| ニ | りん |  |
| ホ | 炭素 |  |
| 3 | 無機化合物及び有機化合物に関し、次に掲げる重量分析ができること。 |  |
| (1) | 沈でん法 |  |
| (2) | ガス発生法及びガス吸収法 |  |
| (3) | 抽出法 |  |
| 4 | 無機化合物及び有機化合物に関し、次に掲げる容量分析ができること。 |  |
| (1) | 中和滴定 |  |
| (2) | 酸化還元滴定 |  |
| (3) | 沈でん滴定 |  |
| (4) | キレート滴定 |  |
| (5) | ガス分析 |  |
| 5 | 無機化合物及び有機化合物に関し、次に掲げる機器分析ができること。 |  |
| (1) | 吸光光度分析法（可視、紫外） |  |
| (2) | 原子吸光分析法 |  |
| (3) | ガスクロマトグラフィー |  |

上記のとおり確認した。

（判定者）

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 資格 |
|  |  |